

# 患者講義をつうじて考える B型肝炎問題をめぐる法と政策形成

本講演会は、B型肝炎患者がかかえる問題の深刻さにたいして、法的・政策的な問題解決の可能性やその限界について考えることを目的とします。B型肝炎訴訟の原告・患者である小池真紀子氏からは「身体的なこと」や差別や偏見といった「心のいたみ」について、またこの問題に早くから取り組まれてきた同訴訟大阪弁護団代表の長野真一郎弁護士からは、訴訟の経緯や立法措置にむけた政策的なプロセスについて、講演していただく予定です。

なお、この学術講演会にはどなたでもご参加することができます。

## 講 師

**B型肝炎訴訟大阪原告団**

**小池真紀子氏**

**B型肝炎訴訟大阪弁護団代表**

**長野真一郎氏（弁護士）**

## 司 会

**石橋章市郎（関西大学法学部教授）**

日時： 2017年5月16日（火） 14時40分～16時10分

場所： 関西大学千里山キャンパス 第1学舎2号館B202教室

**主催：関西大学法学部**

問い合わせ先

吹田市山手町3-3-35 関西大学法文オフィス  
06(6368)1121 (代表)